



洞爺湖町子育て支援センター TEL 0142-76-2008
 メールアドレス kosodate.center@town.toyako.hokkaido.jp

令和7年 9月1日

毎年、気温が上昇し、北海道とは思えないほどの暑さとジメジメだった8月。
 子育て中のママも大変だったと思います。

それでも最近では、朝夕めっきり涼しくなり季節の変化を感じていますが、日中は、
 まだまだ暑い日が多く、いつの間にか体力を奪われ、疲労感をもたらします。しっかり
 ママも子どもも水分や食事をとり生活リズムを整えていきましょうね。

子育て支援センターの開設や保育所開放では、残暑をもう少し楽しみながら園庭で遊
 びたいと思いますので、着替え、水分補給物、タオル、帽子など持参するようにして下
 さい。ベビーちゃん達はお部屋で遊んだり、涼しい日にはお散歩にも行きたいなあと思
 っています。

子育て教室8/5 キラキラティータイム 「産後ケアと抱っこのお話し」



理学療法士の 表若奈さん を講師に迎え
 産後のからだのケアに関するお話、抱っこの仕方、
 抱っこひもなどの正しい使い方やストレッチも教えていただき
 ました。参加者からは「日常の生活に取り入れやすいストレッチ
 を教えていただき良かったです。」「早
 速やってみようと思います!」と好評
 でした。



「開放7/25・8/1・8・22・」

ハイハイをしたりボールを追いかけたりと一人ひとりの成長が
 早くて驚かされています。
 来月会うのがとっても楽しみです。



「9月の予定カレンダー」

日	月	火	水	木	金	土
	1 	2	3	4	5 桜ヶ丘保育所開放 (計測)	6
7	8	9 子育て教室 「かんたん手作り おやつ」	10 	11 	12 洞爺保育所開放	13
14	15 敬老の日	16 	17	18	19 入江保育所開放	20
21	22 	23 秋分の日	24	25	26 本町保育所開放	27
28	29	30				

運動遊びはなぜ大事？

大人にとって遊びとは、余暇に行う趣味のようなものです。しかしこども、特に乳幼児期においては、成長すべてに関わるもの。人間の運動機能に関わる神経系は生後6年間で成人の90%近くまで発育するといわれます。運動遊びをすることで多様な刺激を受けると神経回路は大きく発達します。

また、からだを動かすことは、生活リズムを整え、自律神経機能の低下を防ぎます。自律神経の働きが低下すると、体温調節ができず、オートマチックにからだを守れなくなり、また、意欲も低下します。このような目の輝きの失われた幼児が最近が増えていきます。

身体を動かすことは、「自分ができる」という達成感の獲得にもつながります。また保育者や家族、友達と一緒に遊ぶ事で、楽しさや喜びだけではなく、不安や怒り等、様々な感情を体験し、コミュニケーション能力のアップにもつながっていきます。ルール解釈、理解等にも発展します。

こどもの心身すべてに必要なものが、運動遊びで経験できるのです。

保育雑誌 Paprika より引用



『ことば』って面白い

0、1、2歳時期は、ことばを獲得する大切な時期です。知っておきたい関わりのポイントを紹介します。

意味のある言葉を話す前から、子どもは快・不快を伝えようとしたり、人を求めています。信頼関係を築き人と人との関わりが、心地よいという経験を積み重ねていながら「ババ」「アププー」「アムアム」などの喃語を発するようになります。

《かかわりのポイント》

■愛情を込めて応じましょう

赤ちゃんは全身を精一杯使い、何かを伝えようとしています。その言葉にならない言葉を受け止め、あふれる愛情を込めて精一杯応答していきましょう。

■マザーリーズを意識して見ましょう

赤ちゃんに話しかける独特な語りかけ方を「マザーリーズ」と言います。

- ①少し高い声で話す。
- ②抑揚を大きくつけて話す。
- ③同じことばを繰り返す。
- ④ゆっくり間を取って話す。
- ⑤微笑みながら話す。

生まれながらにして赤ちゃんは、マザーリーズを聞くと、嬉しいと感じる聴覚を持っていると言われています。

およそ1歳くらいになると、しきりに指さしをするようになります。

■ことばで返しましょう

子どもの指さしに対しては、大人が共感、ことばで返すことが大切です。「ほんとだ、あそこにあったね。」「おやつもうひとつたべたいね。」「お散歩しているね。かわいい犬ね。」と言葉にならない言葉であっても、大人が言葉で応じることで「会話」が成り立ちます。

あそびと環境 0・1・2歳より引用
10月はことばの第二弾として「話ことばのはじまり」を掲載したいと思います。